

熊本県立阿蘇中央高等学校

（普通科・総合ビジネス科・農業食品科・グリーン環境科・社会福祉科）

阿蘇を支える地域クリエイターの育成

Fostering local creators who support Aso.

阿蘇地域の持続可能な地域社会づくりに貢献する人材の育成

Development of human resources who contribute to the creation of a sustainable community in the Aso region.



3年次

地域の魅力を創造し、持続可能な社会の構築に参画する

- ◆グローバル化に対応する知識や技能の学習
SDGsをテーマとする研究、外国人観光客への魅力発信
→グローバルな視点で社会の課題を解決する力
- ◆ブランド製品への付加価値創出方法の研究
商標登録や製品分析、品質・デザイン認証制度への挑戦
→付加価値をつける力、ブランドをマネジメントする力
- ◆知識・技能（技術）を活用した社会貢献



2年次

地域との協働を通して、合理的かつ創造的に課題を解決する力を身につける

- ◆社会とつながる探究型学習（2・3年次）
地元産業界との繋がりによる研究課題設定
→地域資源を活用した課題解決のための企画・実践
- ◆学科間連携による学校魅力化へ向けた取組
地域資源をテーマに地域ブランド開発、観光活性化の視点からマーケティング戦略
→地域資源を活用する力、他分野を理解する力
- ◆社会のニーズを踏まえたフィールドワーク
実習終了後も関係を維持する経験学習サイクルの構築
→社会の課題・ニーズを分析・認識する力



1年次

地域を理解し、多面的な見方・考え方を習得する

- ◆基礎的知識・技能（技術）の習得と社会とのつながりを学習
学びが生かされている地域企業・公共団体等
ICT機器を活用した学習、SDGs・AI等
→各分野の体系的・系統的な理解、情報を収集・活用する力
論理的思考力と職業倫理（考える力・社会的責任）
- ◆地域産業資源の学習素材への活用
→産業の意義や役割、地域資源の特徴や課題の理解
- ◆総合的な探究の時間「阿蘇学」による地域理解・探究
地域と連携した地域文化・歴史の理解・課題の発見
→自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度
- ◆地域中学校と連携したシームレスな地域資源の学習

中学校

2つの研究活動軸

地域資源を利活用した
社会とつながる探究型学習

地域と連携した
コンソーシアムの構築

目指す人材像：持続可能な地域社会を創造できる人材

本校生徒が、各科の学びを通じて主体性や協働性を高め、地域の産業や観光、資源を活かして持続可能な地域社会づくりに貢献できる人材。未知の社会において、地域と協働し、社会人基礎力や高度な専門性、地域創造を可能とする資質・能力を兼ね備えた人材を育成する。

第一線の知識・技能（技術）や地域のニーズを研究に生かすため、学校外部の人材を「コーディネーター」として活用する。

- ◆地元産業界（企業・行政機関・金融機関等）
知識・技能（技術）・ニーズ・リソースの提供・フィールドワーク
- ◆地域資源の活用（人材・食品・文化・自然など）
- ◆SDGsへの取組（環境学習・社会創造）
クリエイティブ思考力・マーケティング
- ◆地域文化・歴史の継承等
- ◆起業・経営に関する学習（人・もの・金）
- ◆公的機関・大学・研究機関（行政・東海大学・県立農業大学校・県立林業大学校・農業協同組合等）最新の研究成果の活用・研究

第4次産業革命に対応。
産業に新技術を創造的に活用する能力を養う。

レスポンシブHPによる家庭・地域への情報発信
WEBマーケティング・クラウド・AI・VR等
最新技術の学習

授業における「状況づくり※Motivation class」（課題設定等）と「仕組みづくり※Systematic class」（目標設定やリフレクション等）を工夫し、新しい時代に求められるリーダーシップを育成する。

※これからの時代に求められる新しいリーダー。「目標設定」「率先垂範」「同僚支援」ができる、一人ひとりがそれぞれの立場（役割）で主体的に活動できる人材

阿蘇中央スタンダード

観点別評価、アンケート評価を基に、生徒の成長過程の変容を個別化・可視化することで、生徒一人ひとりの学びを深化させていく。
地域愛・社会貢献・リーダーシップ教育で地域や社会を支える人材を育成する。